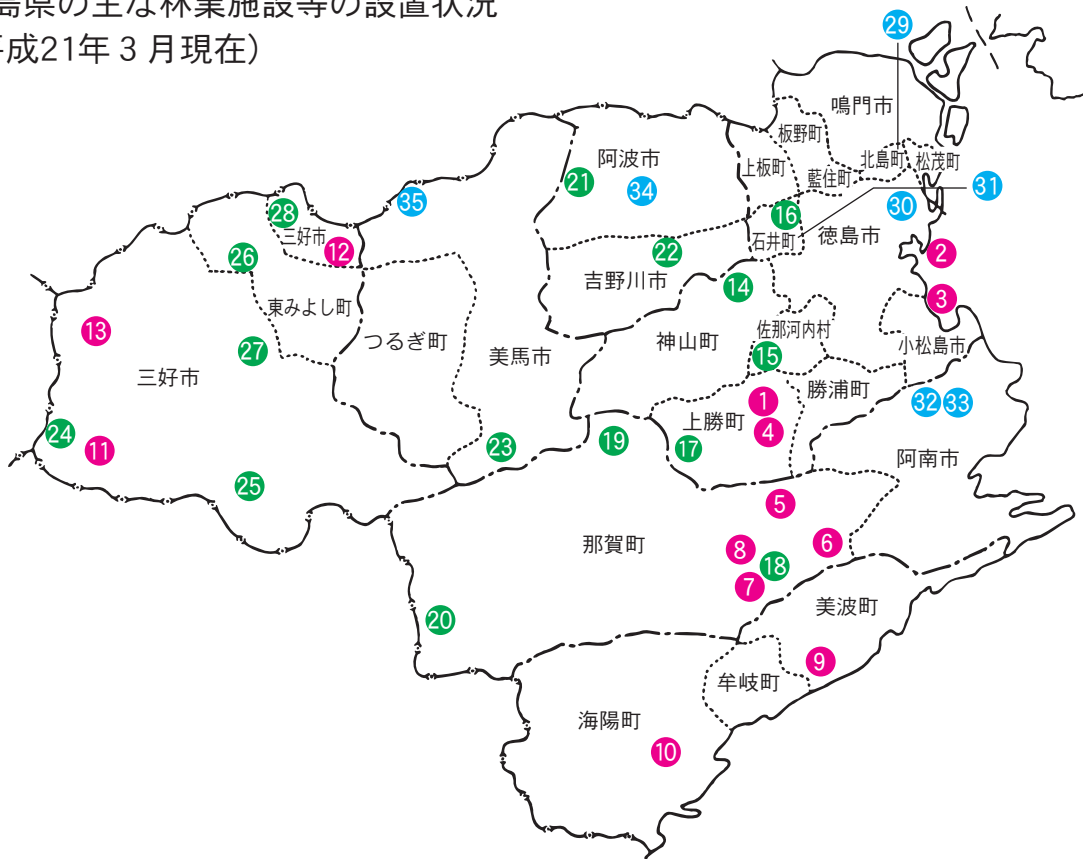


III 林 業

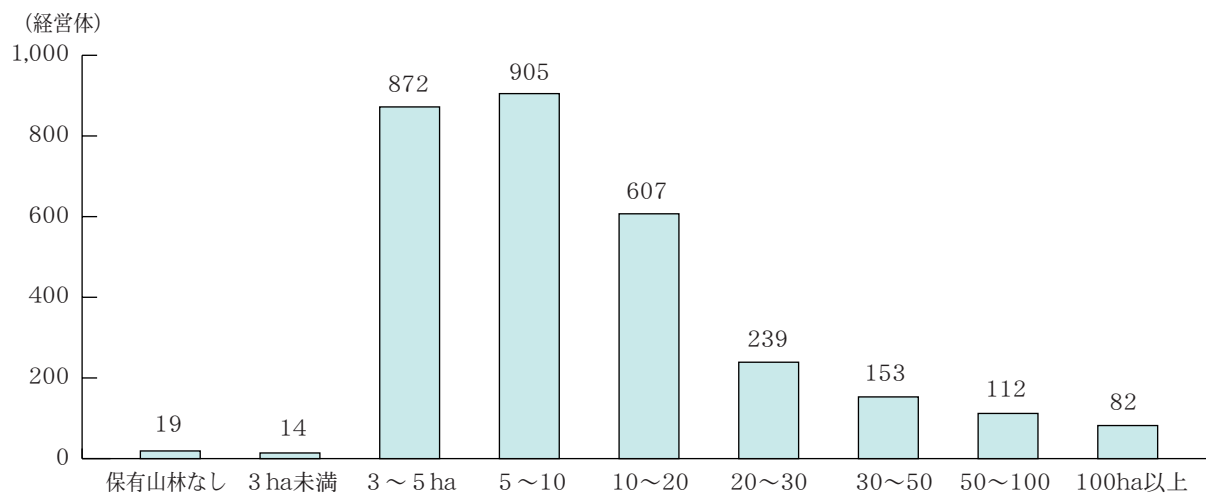
1 徳島県の主な林業施設等の設置状況 (平成21年3月現在)



| 木材流通加工施設 | | |
|----------|-------|--------------------|
| ① | 徳島東部 | 木材加工施設 もくさん |
| ② | 徳島東部 | 津田木材団地 |
| ③ | 徳島東部 | 原木市場 |
| ④ | 徳島東部 | 徳島中央森林組合 |
| ⑤ | 阿南・那賀 | 木頭森林組合木材共販所 |
| ⑥ | 阿南・那賀 | 相生町国産材加工生産協同組合 |
| ⑦ | 阿南・那賀 | 若杉林材加工組合 |
| ⑧ | 阿南・那賀 | あじさい木工株式会社 |
| ⑨ | 海 部 | 海部林材協同組合 |
| ⑩ | 海 部 | T Sウッドハウス加工場 |
| ⑪ | 三 好 | 三好林業総合センター |
| ⑫ | 三 好 | 三好木材流通加工団地 |
| ⑬ | 三 好 | 集成材加工施設 |
| 森林総合利用施設 | | |
| ⑭ | 徳島東部 | 神山森林公園 |
| ⑮ | 徳島東部 | 大川原高原 |
| ⑯ | 徳島東部 | 野鳥の森 |
| ⑰ | 徳島東部 | 高丸山千年の森 |
| ⑱ | 阿南・那賀 | あいあいらんど |
| ⑲ | 阿南・那賀 | ファガスの森キャンプ場 |
| ⑳ | 阿南・那賀 | 美那川キャンプ村 |
| ㉑ | 徳島中央 | 土柱山村広場 |
| ㉒ | 徳島中央 | 植桜山村広場 |
| ㉓ | 美 馬 | 中尾山高原森林総合利用施設 |
| ㉔ | 三 好 | 塩塚高原休養休憩施設 |
| ㉕ | 三 好 | 竜宮崖公園 |
| ㉖ | 三 好 | 美濃田の淵自然公園 |
| ㉗ | 三 好 | 森林体験交流施設 |
| ㉘ | 三 好 | 健康とふれあいの森 |
| その他の施設等 | | |
| ㉙ | 徳島東部 | スーパーウッドシステム モデルハウス |
| ㉚ | 徳島東部 | ハウスジー住宅センター ウッドプラザ |
| ㉛ | 徳島東部 | もくさん モデルハウス |
| ㉜ | 阿南・那賀 | 那賀川すぎ共販 モデルハウス |
| ㉝ | 阿南・那賀 | T Sウッドハウス モデルハウス |
| ㉞ | 徳島中央 | 金清生活環境保全林 |
| ㉟ | 美 馬 | 竜王山生活環境保安林 |

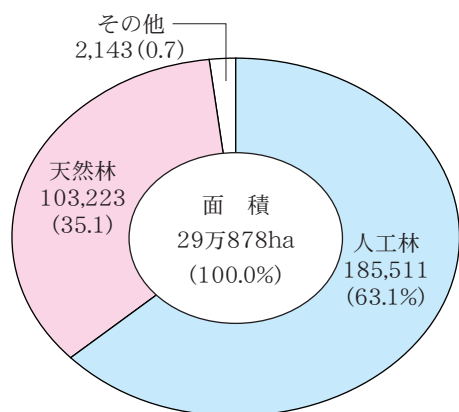
2 林業経営体数及び森林面積

(1) 保有山林面積規模別林業経営体数



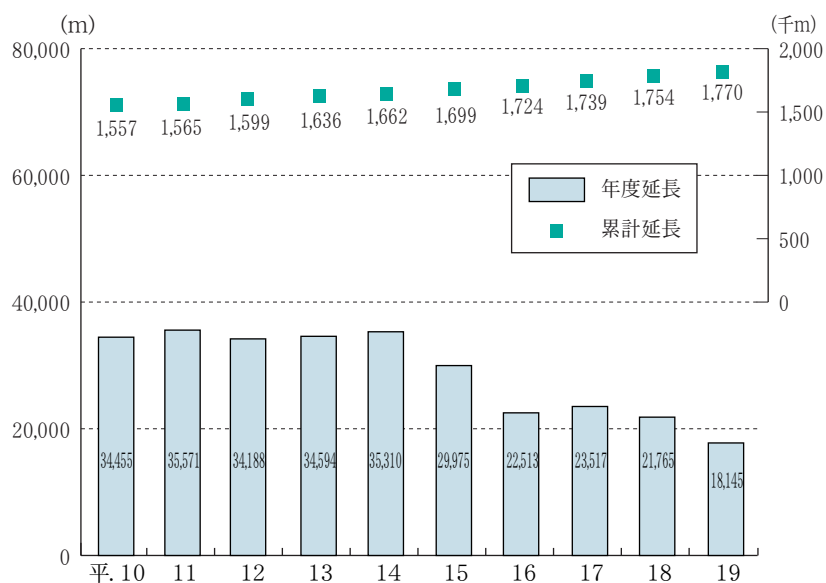
資料：農林水産省「2005年農林業センサス」

(2) 森林面積の構成比（私有林）



資料：徳島県「平成20年度みどりの要覧」

(3) 林道開設延長の推移



資料：徳島県「平成20年度みどりの要覧」

——私有林が中心の森林資源——

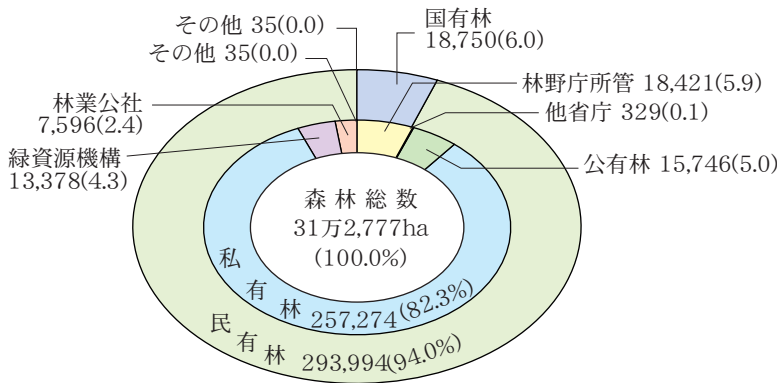
2005年農林業センサスにおける本県の林業経営体数は3,003経営体である。

保有山林規模別にみると、林業経営体数の69.9%を5ha以上が占めている。

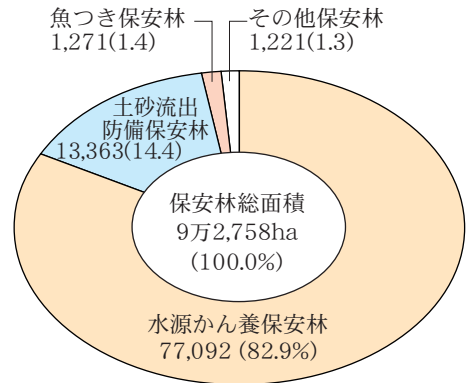
平成18年の森林面積(私有林)は29万4,064haで、うち人工林が18万5,938ha、天然林が10万2,607haで人工林率は63.2%となっている。

3 森林資源 (平. 19)

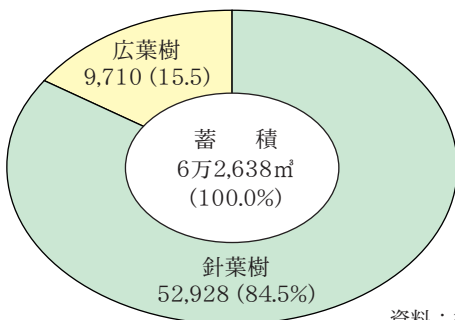
(1) 森林管理形態別面積



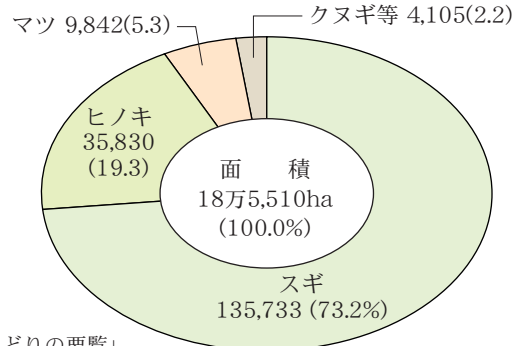
(2) 保安林面積の現況 (私有林)



(3) 森林蓄積の構成比 (私有林)

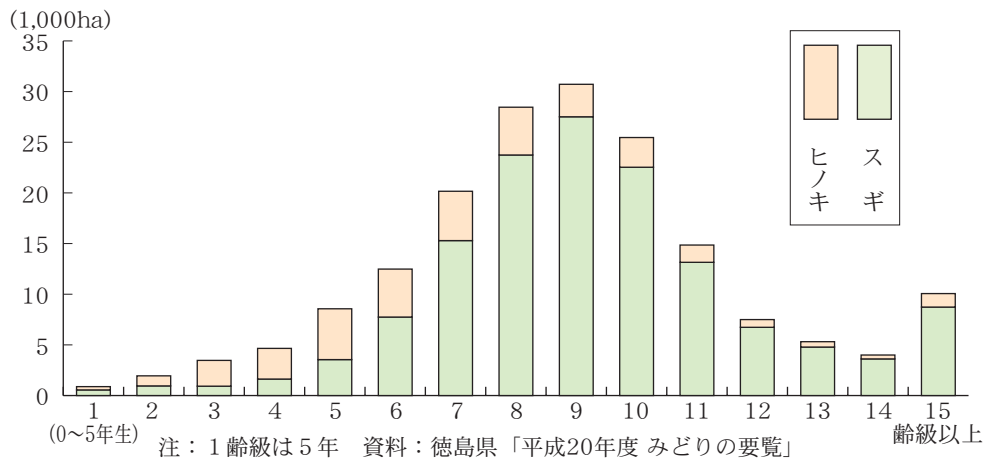


(4) 人工林樹種別面積 (私有林)



資料：徳島県「平成20年度 みどりの要覧」

(5) スギ・ヒノキ人工林齢級構成 (私有林)



——公益的機能の発揮と地球温暖化防止森林吸収源対策に向けて——

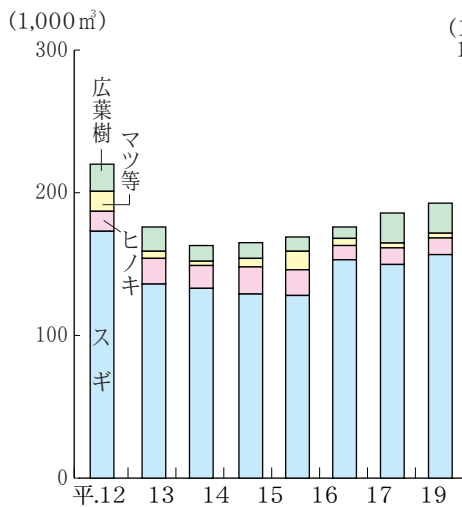
平成19年の森林面積は31万2,777haで県土の75%を森林が占めており、そのうち私有林面積は29万3,994haである。

本県の森林の94%を占める県有林は、スギ・ヒノキなどの人工林が63%を占めており、そのうち7～9 齢級 (31～45年生) の緊急に間伐が必要な森林が約5割を占めている。

本県は森林を「水土保持林」「森林と人との共生林」「資源の循環利用林」の3つの機能に区分して、これらの機能に応じた森林整備を推進している。また、水土保持など機能に応じた間伐対策の推進、複層林の導入、林道等路網の整備、治山施設の効率的設置により多様で健全な森林づくりを進めている。

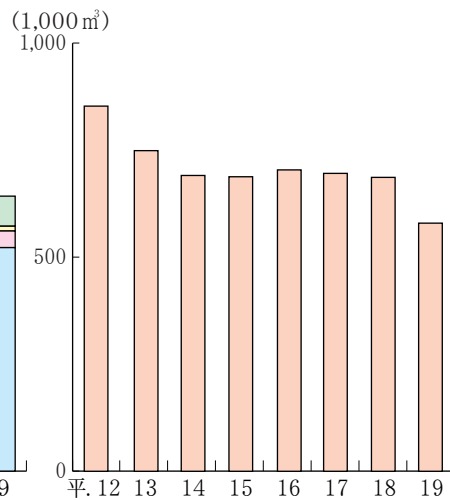
4 林業生産

(1) 素材生産量



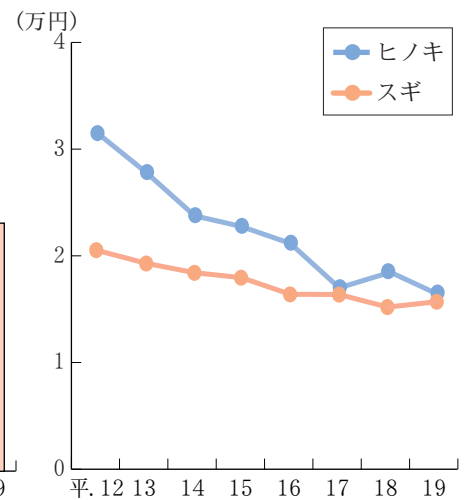
資料：農林水産省「木材需給報告書」

(2) 素材需要量



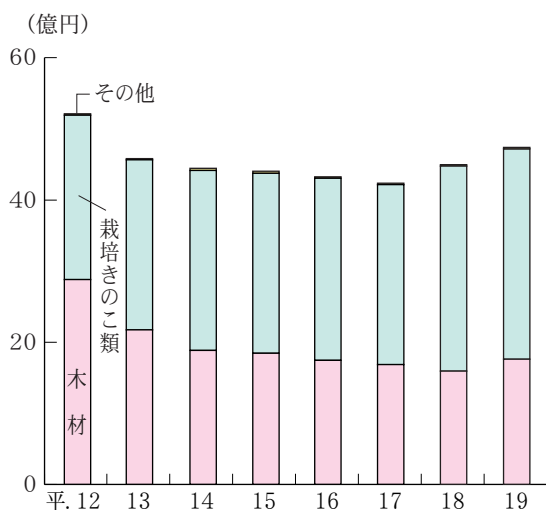
資料：農林水産省「木材需給報告書」

(3) 県内木材価格の推移



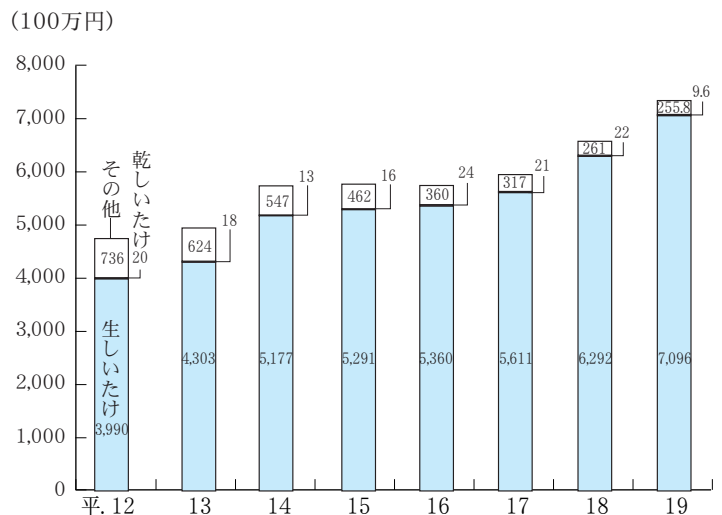
資料：徳島県「平成19年度みどりの要覧」

(4) 生産林業所得



資料：農林水産省「生産林業所得統計」

(5) 特用林産物生産額の推移



資料：県「平成19年度みどりの要覧」

——県産木材の需要拡大と木材産業の体質強化を目指す——

林業や木材産業の振興はもとより、山村の活性化や森林の適正な整備につながる県産木材の需要拡大を図るため、県産木材の良さと利用を普及・啓発するとともに、県産木造住宅の普及、公共施設や土木工事における県産木材の使用を積極的に進めている。

平成19年度の素材生産量は19万5,000³m³で、前年に比べ9,000³m³（4.8%）増加した。一方、素材需要量は58万8,000³m³で、前年に比べ6万³m³（9.3%）減少した。

生産林業所得は47億2,000万円で、前年に比べ2億9,000万円（6.5%）増加した。これは、栽培きのこ類の生産が増加したためである。

また、特用林産物の生産額は65億7,600万円で、前年に比べ6億2,700万円（10.5%）増加した。